



12/10

第46回少年の主張全国大会
井上愛奈さんが「審査委員会委員長賞」を受賞

白鷹中学校3年生の井上愛奈さんは、11月24日に開催された第46回少年の主張全国大会に北海道・東北ブロックの代表として出場し、審査委員会委員長賞を受賞しました。

この日、町長への報告のために来庁した井上さんは、「結果は悔しいが、将来へつながる経験になった」と述べました。大舞台での堂々とした主張はとても素晴らしいものでした。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。



▲賞状を手にする井上愛奈さん

12/22

白鷹町誕生70周年記念事業
ふるさと商品アイデアコンクール優秀賞受賞作品発表

白鷹町誕生70周年を記念し、町内の小中学生を対象に白鷹町の特産品を利用した新商品のアイデアを募集した「ふるさと商品アイデアコンクール」において優秀賞に輝いた商品の発表が、中央公民館で開催された「ふだふだ市」において行われました。

優秀賞に選ばれたのは、衣袋結羽さん(浅立)の「しらたか紅ソフト」と、前田侑真君(荒砥乙)の「トマトソフト」。どちらもトマトを使った真っ赤なソフトクリームの発想が評価されました。

入賞された6名には、表彰楯と副賞が授与されました。また、ソフトクリーム購入者には、白鷹中学校美術部がデザインした70周年記念缶バッジがプレゼントされました。

70周年記念缶バッジ! →



▲優秀賞を受賞した衣袋結羽さん(左)と前田侑真君(右)

12/24

永年の功績がたたえられ
令和6年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞

11月26日、令和6年度全国社会福祉大会が開催され、社会福祉法人白鷹会愛真こども園園長の山本幸子さん(荒砥乙)が、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞され、この日、その報告のため来庁されました。

これは、社会福祉事業に永年従事され、その功績が特に顕著である方に贈られるものです。山本さんは、愛真こども園の福祉理念「愛いっぱい・心向き合い・育てあい」や、教育・保育理念「夢いっぱい・力いっぱい・にこにこ」の実現に向けた保育園運営に取り組み、地域との連携にも力を入れるなど、長きにわたり保育の向上にご尽力されてきました。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。



▲賞状を手にする山本幸子さん(中央)



12/3

永年の功績をたたえて
アルミ缶回収協力者表彰 優秀賞を受賞

こぶしの家(竹田恵美施設長)が、アルミ缶リサイクル協会(石原美幸理事長)が主催する令和6年度アルミ缶一般回収協力者表彰で優秀賞を受賞しました。

全国に1,500箇所ある回収拠点で、特に優秀な活動と認められた65団体の中にこぶしの家が選出されました。こぶしの家ではこの活動を14年前から行っており、令和5年の回収総量は1,640キロとなりました。町内事業者や近隣住民の方よりアルミ缶を提供いただきながら続いている活動です。

このたびの受賞は、平成30年度に続き2度目となります。誠におめでとうございます。



▲アルミ缶リサイクル協会の稲林専務理事(右)と施設利用者

12/5

第24回山形ふるさとCM大賞
白鷹町作品が「やまぎん賞」を獲得

山形テレビが主催する「山形ふるさとCM大賞」の審査会が、やまぎん県民ホールで行われました。

県内35市町村の「ご当地CM」が集うこの企画も、今年で24回目。今年作品は、高玉芝居で活躍する高米会の役者3名が白鷹町の魅力を早押しクイズ形式で回答し、テンポ良く「白鷹町!」と連呼するものとなっています。

審査の結果、2年連続となる「やまぎん賞」を獲得。作品のテンポと役者のインパクトがとても印象に残ったと好評をいただきました。本作品は、山形テレビで年間200回放送されます。撮影にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



▲受賞後に記念撮影

12/7

理解を深め、支えあう地域づくりに
認知症サポーター養成講座(認知症講演会)を開催

この日、企業や事業所の方を対象にした「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

講座では、医療法人杏山会吉川記念病院で長年認知症医療に携わってこられた御供正明院長よりご講演いただき、認知症の基本や対応についてわかりやすく説明いただくとともに、認知症の人が住みやすいまちを目指していくことで、みんなにとって優しいまちづくりにつながっていくというお話をお聞きました。

参加された33名には、オレンジリングとステッカーを配布し、仕事や活動の中で見守りを行う認知症サポーターの目印として、身につけたり、店頭などに掲示いただく予定です。



▲講演会の様子